

系であるのでこの統一戦線戦術の理解と運用は特に重要であった。

(四) 斗争の経過

米下米地のあるわたり、中を我を以て斗争を始めた。果敢員長自から空白地帯の自
他と指導すのため農村深く入りこり、元日の日以八里も歩いた。この日大原(補)自
宅を訪ねて支持を甲入水。今次は社会党の煮えきらない純心度とは違つて卒直に
礼を述べ反自由党と果敢刷新の決意を語られた。(但しこの党の甲入水は今次自身に
よつて広汎に広げられた。)正月の休を利用して党内組織の集会を開き、統一戦線の方
針を討議し、ゴウボスターの仕事を始め、或は街頭演説を打つて、久しく放置され
て、壁新聞が貼られ、四日、初出勤の各至営に對する党の挨拶と選挙方針の
ゴウを最初として大宣伝が行われた。

永、同自由党果敢とボスターを苦しめられた。果敢組は、自らの公務員法、美
施による政治活動禁止の憤激が拍車になつて民戦の最強の推進力となり、これに連
師連盟、農民党、果敢組と各労組の尻上りの支持の中で保守勢力は分裂し反
効の大動搖が始まつた。所村長合議長会などの和久田支持に対し、九日、果下五市長

は広色に参集して統一し補大原を推す其の声明を出し(佐々美市長のみ池田の圧力で脱
 落した)反自由党 及小谷(米合議長 反勤の中心勢力)果敢の態度を明かした。
 自由党の有力者 平野馨氏(元民主党幹事長)一統を引連れ脱党し、公然
 と野党連合に加入した。保身勢力によつて育成された果敢人連合会も自由党
 系幹部で独占され、執行部委員会の決意に反対して副会長の辞任、五市と教部
 での反幹部決議を声明した。

この中で各地支部員会、細胞は困難な条件下で分派の妨害をけつて最も地味
 な、基本的な選挙斗争を進めた。広田三原を中心とした、選挙の流し込
 む、水ていは目録計ニヨリ枚に達した。特に次に掲げる同志等の奮闘は愛國的人民
 英雄主義の模範として、全党の党組織が文字に示すに足らぬものである。

(五)愛國的人民英雄主義を發揮した党員の川口
 加茂部守三氏(農林)は、池田首相出身地の隣所として、彼らの最も頼みにして
 いた鉄壁の地盤であつて、細胞は昨年附近の神岡鉦山で愛國者追放になつた同志
 など貸金屋や農業をやつて、少数の青年の周囲に中身のレンパを結集して、
 細胞である。参議補選にも街頭演説等やつた功の自信を得た。この「今度こそ

志國叔の自由党をこの町から一々残らうと叩き出そうと申合せた。まづ六日に各団体に申入れたが住友ガラスに拒否されども個人的には話し合へども組織的共闘の月込みがなつて、直ちに壁紙新多(言枚)を貼リビラ言枚で宣伝したところ統一選挙の意義が徹底して来た。十一日池田が煙草耕作者組合の総会で演説するのを利用し、自由党を出したら税金を半分にすると云つた利益誘導や麦飯放言、又斯の具体的不正を巧みに追及したところ、池田が差へられなくなった退却した。細胞は確信をもつと同時に大衆もこれを転機に反自由党に動き出した。十三日から毎夜全員が活動を始め、益間は投票まで二名がブツ通して一名は四日間二名は二日間仕事を休んで店番を女の子に頼んで農業をする日も仕事の休みは街頭演説をやる程に熱中した。プラカード、四反戦旗一を持つて演説し、演説の出来な者は安芸村氏外(三〇〇)千ラシ(五〇〇)を持つて個別訪問した。演説では演説をやつてると農慣の青年部がやつて来て二ヶ所程順向がしてあるからやつて呉れと申込み青年部主催で呼込みをやつて呉れ、おまけもしつかりやれと激励する(右でこのおま

及び新々を演ずることにした。また和久田の運動員二名が演説を聞いて
 自由党の応援が馬鹿くさくなつて去つてメカホンも投げ捨て、引つた。この
 ようにやつてゐると大衆が「中苦勞さん」と言つて「寒いから酒でも」とすすめ
 たり煙草、茶を接待して守つて呉れり。大原は補が来た演説会の時は今
 頃の共産反戦旗を立て、応援し大原氏が「中苦勞さん」と言つては下部
 からの圧力は統一戦線も成功さすカギと感ぜり。それまで細胞の街頭演
 説には自由党の暴力団がつまといつて妨害したがこの時から大原派の運動員
 が守つてくゝれる様になつた。小松部落では所長の家のそば（和久田の事務所）
 とは知らず演説会をやつた。暴力団が三十人位で取り囲んで、そこで直ぐ大衆
 に訴へ、しかも立会を申込んだら去つた。自由党は大原と力闘してなく（共）と
 の闘いで、大原は社会党が推してゐるし当選したら共産党に入党するぞらう
 と宣伝し出した。（実際所では大原の事務所は大きな旅館にあるのに細胞
 の小さな貸車庫がそうだと所氏が思ひ込んでいた。）「中下除名」のビラをこ
 の所では自由党が破つて歩いた。しかしこの中で所のボスは対立し池田と大原の
 自由党中川代議士の子分は池田が東京から大百万系持つて飯つたとの噂をと

売国奴の自由党をこの町から一々残らず叩き出そうと申合せた。五月六日に各団体
 に申入れが住友ガラスに拒否されども個人的には話し合へども組織的共闘の目
 途みがないので、直ちに壁紙取り(言)枚)を貼りビラ言)枚)で宣伝したところ統一
 選挙の意義が徹底して来た。十一日池田が煙草耕作者組合の総会で演説す
 るのを利用し、自由党を出したら税金を半分にすると云った利益誘導や
 麦飯放言、又所の具作的不正を巧みに追及したところ、池田が答へられなくな
 った退却した。細胞は確信をもつと同時に大衆もこれを転機に反自由党
 に動き出した。十三日から毎夜全員が活動を始め、益間は投票まで二名がブ
 ッ通して一名は四日間二名は二日間仕事を休んで店番を女の子に頼んで
 農業をする日も仕事の休みは街頭演説をやる程に熱中した。プラカード
 四、反戦旗一を持つて演説し、演説の出来な者は守苦峠氏外(三〇〇)千
 シ(五〇〇)を持つて個別訪問した。演説では演説をやつてゐると農林の青年
 部がやつて来て二ヶ所程準備がしてあるからやつて呉れと申込み青年部
 主催で呼び込みをやつて呉れ、懇話会もしつかりやれと激励する(右でこの懇

はしてんやわんやになり池田会員で大原を推す者が現はれ、斯く愛善苑
 (大東放)は前から五回位党と懇談をして、^こころがその機関紙に平和を要求
 するとかいって反動から共産党だと宣伝されたのに憤激し今回統一選挙
 には党へ申込んで来る有様で又懇談会も招待も受け、西部消防団は警
 察及ボスから団長が赤だとか言はれてしめ出されようとしていたがこの度は統一
 選挙を引いた団員のみ出しを一切行わず、干渉しないと言明して所長、商工
 会を向うに廻して斗つて来、所で孤立したボスはアルバイト学生を連れ、隣
 の安浦町へ逃げたりして、同志定着はこれを追連してたりしたが、安浦では細
 胞が分派の影響で解散した儘で今度の選挙中に分派常任が二回も工賃
 に来り、まず中下除名と統一選挙の意義を説明したら納得して呉れて
 中下カヒラは中止して来、五枚中三枚を止め二枚を各戸に取戻しに付
 つた。これまで分派はケリきたがどうも納得出来なかつた。これから大原の運動
 せざる、又活動指針や連絡をとって貰いたいと言ふことになつた。こゝして最近の
 進み込みでは教組、日通、電産、前内製衣業、新栄工業と細胞で百名の工賃隊

20.6.

が出来「細胞」方は居住を愛持つて「宝」の教組の私達が農村の村々です」と云つた
 大統一州が出来上つた。ボスも沮田会も中心に百七十名位活動して「共産党の
 推す大原が池田大臣の推す和久田の」と連呼して廻つた。細胞の斗は周辺各地
 域にも大きな影響を与へ、大原所も自由党は一斉にこのスローガンも叫んだ。
 又このまじりの選挙では自由党のボスは潜り運動するのど誰だか判らなかつた。
 が此の度には旧所の会長、所ボスがよわし、皆呼込に街頭に出たので判つた。彼
 らは追込戦でけ酒ものみ大原派の応援者を買ひかすので女など自派の運動員
 まで恐れ、こまを見大原は自由党は暴カだとつらりして示す。又隣り
 田部から示す妻系団の大原の応援者は細胞と交歓し反報をもつて飯つた。

(1) 三原地区委員会指導

身芸伴細胞が所属する三原地区委員会は中国地方最大の工場都市三原市
 所を以てかつ三原車輛の大細胞があることと知られてゐたが、実はここが赤色
 幼組合主義の根を分派の果を委員を輩出し、地区委員も全員が分派に参加
 地と概周は潰滅した。二万の工場労働者の中で党は恐し、程小さくなり判りし
 指導部は示徑路で自派の働きながら平常任をやつてゐる同志だつた。(1)ま

各団体の統一選挙を申し込んだが医師会は丁重を挨拶で済ましてしかゆしの態度
 で統同盟三原支部と帝人労組は共産党が先ず統一したらどうかと不面目な態
 度で逆わけを喰い(共)の二千や三千の固意票を貰うより浮動票の五六千の方
 がよとの回を拒否されたがそれでも大衆政治新道を組合に購読せよとい
 とになり、東織は統同盟との決意で動いているから支部に申し込んで大水口こけ
 過去半年も争戦をやつたを駭もち執行部は殆んどお共であつたかに党の
 セクトによる幹部政策に終結したため党に対し感情的になり細胞も潰れてや
 りといき巻いていだが新し、地五委員の態度に好感ももち新道を組合長がと
 ることになつた、問題ハ三原車輛(三千名)の労組(カニ組合・統同盟)は党と激
 しく対立して、系大組合だけに容易に信じていようとせず好意は有難い
 がと拒否、今取組は快く受け入れ組合長は「共産党の偉大なる代表」と激
 励し従組(カニ組合やが二百名)は元系がなく選挙中争もやればハージ
 にならむとの赤色労働組合主義は根深かく取組委員会は中下を推すこ
 とになつたが、下部は殆んど取組で大原だとさつて、日東セメントも統同盟と

207

同じ電産では三役が集まつてと奥刻に話し委員長(社会党三役)は「共産
 党の発展であり大いに頑張つて呉れ」と云へた。甲入水の結果は全作的に社
 会党を含めて選挙をやる気がなかつた。

(2) 立会演説会の日、中下除名のゴラが貼られ、中下の党名詐称と暴行
 の告訴経営に二千枚流した。で我然問題となり分派はなす所を知らずの流して
 除名の問題と大衆より「中下」に「除名」の署名を出した。状態は「中下」の
 振りで「中下」の署名を出した。次に「民族存亡の危機に愛国者の行動
 を促す」といふ六枚に「中下除名」と「麦ぬき」の署名をなす。に「中下」を
 を削り込んで経営に流した。街頭演説の出発ない同志は「中下」(千枚)も
 中下に着々準備するなど、何時に大経営に切り出すをとりしてから自由に
 出入り出来るようになつた。のでそのつど組合幹部にも「戦は五分五分だ
 からと棄権防止しろ」とか池田の六百四の情状の追込戦には最大限には
 メガホン隊を初負する。等話しかけ電産幹部も中心に社会党に持込
 んで切ってもらつた。この人は「三原は右派だが中下にははる共の人もおります
 落膽せず頑張つて呉れ」と激励し、中下の家まで尋ねてこの切きの結
 果、共産党が参加しての懇談会はあつたといふ返答に「吾々は出席しなくては

よ、貴方たちで是非やつて下さい」と言へたところ、我輩に感激して市礼
を言つた。其の結果社会党と医師会、総同盟、各労組が会合をもつた
党の意見でスローガンがこの人達を通じてどんくど入り行動が組まれて
いった。

(3) 日取後の追込戦には下部に対しては「全負メがホン流い出ろ」と訴えた。赤織の三百名
を先頭に帝人、三車労組(第二)セメント、教組、医師会等で約千名(内
労働者六百名)がメがホンを持って赤吉市曾有に街頭をデモのようになつた。
赤吉、和久田派のアンチメン、アルバイト、所のボスを圧倒してしまつた。細胞
も社宅、労働者街を分派をバクハして赤吉、今市での投票は

- 大原 広 史 一四九六九
- 和久田 鉄 雄 四九八七
- 中 下 勝 四三七

(4) この選挙を通じてシンパと大衆が党員に話しかける者が多くなつた

10 f

各派の中にも復讐の語をもちかけ、果て反面どうをはがし、中下除名の
 部分だけ削つて、あつたり黒字汁と筆で一日二人が、りて消してあつたりして
 大衆のふかど醜作を演じた、選挙戦の直後に地区の細胞代表者会議は
 この成果を検討して、(イ)幼く気のなかつた、総同盟、組合、社会党を動かす
 縁の下のカ持ちの役割を行つて、下からの統一戦線を造り、(ロ)大労組に
 政治的指導を取らして自由に入し、情仲やゆかりの基礎を造り、(ハ)
 社会党の正義派が動き出す道をつくり、すでに三車取組では執行委
 員会で決定して、果敢選挙の甲入を行い、ますます、どうぞよろしくと云
 つており、(ニ)取組、特に三車では、なせ中下をあ、標に叩くのかとの意
 見がある位、各派の問題が徹底し、(ホ)どう、機関紙の重要性を身を以
 て体験し、少数の人間で、どうしても大衆を指導するのには、どう、機関紙以
 外にないこと等が確認され、反面批判として、(イ)各派(中下)の除名を
 具体的なバク、に、帝国主義者、の、手先としての宣伝の不足、(ロ)日共中斗
 争との結合がないことと、又、字、を、含め、財政と統一がなかつた、(ハ)中
 下除名が、党員の周辺に徹底して、い、な、かつた、特に、党員で中下に投票し

大者がおり、級還者で頭だけの革命方式を掲げている者や細胞会議に出席
 しない者が統一戦線に疑をもつて、いさよを容見した。結論として、収力斗争は
 統一戦線によつてのみ勝利する確信を得。統一戦線は斗争の中から生れ、党
 は大衆の信頼の下にのみ守られる。分派は実践のみで粉砕される（説得の
 みではいくらも説得も効力がなく、活動しない同志が党の方針に疑をもち、活
 動しないと分派主義者は生れる）機関紙にこそ大衆を組織し指導
 することが出来、今後これを全細胞で出すことを決意した。

(六) 分派との斗争

かくて選挙の中盤戦に於ては自由統一補の勢力は伯伴し、分派中
 下がいくら大原の票を喰ひ込むたによつて勝敗がさすると云はれ、即ち
 分派が妙術の巧に、このしやめた糸解しようともおろし選に於ける分派
 中下の役割は売国奴自由党を助け、統一戦線の破壊以外何物でもな
 かつた。

そしてこれを裏表する如く自由党果敢直義は「自共手を結ん

で大原と斗争」と公言し、市民の間からも「中下は自由党から相当金をも
 らつてゐるにちがいない」と噂され、中下も亦自から一月十八日広島市の立会
 演説会でこれに対する弁解をしようとするを得ず。これは商業新報で
 も報道された。ついで大原派の手に入つた自由党の選挙指令に中下
 に金を注ぎ込んで立候補を辞退させぬ工段がはつきりとまかされた。
 このようにして孤立した本派は悪うつな行動を始め、益々墓穴を造
 るじつ々、果ては有力地盤と頼みこんだ本派が牛耳つてゐる尾道
 造船（六百名）では中下支持を執行委員会で決定し押つけられ、党
 の流したごうに依り「共産党からしめ出されれば田力が推せるか執行部は選挙小
 りも先に役員金の選押を解決せよ五言は大原だ」と之をけつて中下をしめ
 出してしまつた。三原車輛第一組合（二百名）では「我々の加盟してゐる果ては
 恨本、員長中下を推す」という分派の押つけをけり、反対に圧倒的多数
 が大原支持を決定し、大会に於ける中下の候補押をも拒否した。
 更に中下の出身地、彼を委員長とする広島造船労組（三千五百名）
 では「まあうちの委員長が立候補してゐるから」と中下支持と一万五千名

の次員全カシパまで沃誡させしが細胞、機関紙「くそり」及びゴウで連日、平和と独立の統一補で、自由党を助ける奴は赤國奴だ。中下は共産党をなす。党名詐称で告発、等々大宣伝を行つたところ、分派もこゝを天王山として全分派で広岳に流血込んで自党の自守つてゐる者等の勢力を弱真して相及ぶすの罵言と自己満足の抽象的文句で弁解をした。

然し永、向、執拗な細胞の工作は徹底的に分派を粉砕した。組合員三十五百名の家族も含めて七十票との彼等の自算は僅か三、四百票の結果となつた。

一月五日高田部吉因の立合演説会場で中下の辞退勧告と除名通告を行つた。果委員長に対し分派は選挙後理委員の面前で暴カ沙汰に及ぶ醜態を演じた。この党名詐称と暴行を果委員会が直ちに告発した。声明は選挙中であるに拘らず、ラレオ、商業新聞でも報道すべからぬ。

分派の力は弱く孤立化していても、勢力が伯仲し一票を争う関係にある。

10
10

合カ三者的合派の動向は最も悪質な役割であり合派を徹底的に粉砕し一掃することが必要な任務になつて来た。

従つて党は一万枚のポスター選べ札の「愛國者の行動も」レハビラ一万枚に全部「統一戦線を破る」とする中下勝を除名しとまき込み且街頭等々あらゆる機会を活用して合派粉砕のため闘つて。

合派も「中下除名」の大衆化を最も恐れその取除き、ビラ破り、統一戦線を破るの追索戦が、日初見の細胞も切角のビラが合派に取除かれるたつとして、活発に闘り出さねばならぬ。各地で激しい闘いが行われ。

合派の選挙方針に疑問を抱き、合派を離れ復讐を意志表示した高田部の農村細胞に対しては元来赤子真長 徳毛 山田 浜辺ら合派の全勢力を集中してこれを阻止し切捨した。オルグ水上げ他地より出させ。

しかしこの合派の最後の冒険的行動にも関わり、赤子真長に於て僅かに一五万を突破するどころか、中国地方合派の最後の拠真広島に於て僅かに一六万六千票余にすぎず惨敗した。(自田党では中下へ金を注ぎ込んで金の

き、わは中下が党の同意票五万以上とつてこれが和久田の勝利になると皮算用して、つらし、——社会党果連ま記長地後氏談)

全く自信をなした分派中下は投票後三日間も家に飯らず、家族の心配して捜査願をするとさう醜態を演じた。投票前一週間、こころ、漸く分派は「右翼解党分派の妨害に依り惨敗したことは遺憾である」と、ヒラを広船の流した、広船では「サマア見ろ」の声をえ出ている。

(七) 斗いは具体的に勝利した。

党は地味ではあるが統一選挙まで強引に押し進めた。終盤戦では今野式相代議士の応援もあり広島、呉はカート三輪で赤旗を高く掲げ、ヒラを撒きながら金市を走り廻った。大原派は医局、教員労組を始め、婦人子供までが応援してメカホンで応援された。各労組も党の共斗呼びかけ拒否していったところを念ぬ大多数が大原支持を表明し、組合員の宣伝啓蒙に努め、造船、金属、国鉄、電産、帝人紡績等では相者教の行動隊を編成し、トウワリとメカホン隊で都市周辺は勿論遠く

農林及糸織部まで工修に入つた。果下各地で最後の二日間はや祭以上の盛況さで斗かゆわい。

結果は五言自身も三言想しなかつた圧倒的勝利に終つた。弱くも中州の農村でも十一万票引きさ之内し三万票の差で敗れた。参議選挙も十九万票の勝利で零い。

大原 玄 丈	(統一候補)	五四四 三六三 票
和久田 鉄 雄	(自由党)	三五八 六八四 票
中 下	勝 (公 派)	一六 七三九 票

かくて統一戦線は具体的に明確。永い前欺騙と不正府閣の上に君臨してゐた売国奴を徹底的に粉砕した。

(八) 教訓と批判

我々はこの選挙斗争を通じて偉大な教訓を文字にんた。

先ず第一に、この誰かが予想しなかつた程の大勝利は、何よりもまず我が党の政策と統一戦線戦術の勝利である。保守的でドレイ的とさ之分派の連中がさう農村に於てさ之十一万票引き高したことは明らかだ。大衆の平

和と根立を要望する全県民大衆の政治的自覚の昂揚と党の政策を受け
入水た大衆自身の成長の結果である。天余の降雪の悪条件にも拘らず八二%
の投票率もその証を示している。

第二にこの勝利が当初よりわが党のたゆみなき努力の結果であると同様に大
衆自身が斗いとして勝利であること、分派の影響音下の組合下部大衆をも
含めた全県下の労組、民主団体は全県的規模に於て自発的に夫々の要求と
選挙の関連性をもつてかくも広汎な斗いを展開したことはなかつた。いかに
が昂揚したかまた新しい斗争への意欲を示すものとして安芸県下の選挙官
の声援、広島市では民主聖友が制服を脱いで統一団の工役隊に参加し町内
を巡る和久田の自動車をスクラムで追迫したりして、又各校の教員は池田
の細胞にやり込められたいことを報告する細胞の壁紙ももて教員で意欲的に子
供に教えて統一団補を支持した。

第三に三度選挙を斗い漸く統一戦線が理解され水陸人との細胞が創意
性を生かして斗い、そして実践を通じて政策に対する理解を深め、決

之を忠実に実践することこそ勝利への道であることを身をもつてを強し確信をもつたことである。この中で大衆の信頼を回復し新しい組織も拡大強化された。

第四に僅か一月の間、永い伝統を誇る反動自由党勢力を全果民の面前で堂々と粉砕し孤立させしめた。池田首相は自由党支部長を辞任し、果支部役員も陣営も総替りするに至り、地方選挙を控へ自由党果民は、ラ替えさせ始めた者である。この統一戦線の基礎を築き上げた成果は不滅である。

第五に反動勢力の粉砕と同時に最も悪貨な分派主義者、統一戦線の破かいと彼等の組織同様の野望を大衆斗争の中で白濁させしめた。この孤立化させ、大衆の批判の具体的バリエーションである。分派の一万六千余票、一、二の参議選の党の票約1/3がこれを明らかにしている。

第六にこの政治的関心の印として、好戦の大衆を異状に訓練し、意欲を付け、党の根立と全面講和のイメージが不充分にせよ大衆に受け入れられたことである。然し、なげうこの輝かしい成果の反面、分派より高水再建された果民の弱兵がこの

選挙を通じて集中的にバックをされている。この欠陥こそ教訓を今後の実践に生かして勝利の確信の上に立つて前進することによって克服されるわけである。

先づ第一に三度選挙を闘っても尚統一戦線に対する理解が不充分であり全党員を実践に動員させることができず各経営労働者の相互活発な独自の活動がなされず統一の方向に結果することが出ずなかつた。

第二に選挙斗争が当面する大衆の要求斗争と結合されず一般的ブルジョア政党の選挙と殆んど異なる、斗争に弱み傾向があり、参考議選の批判が充分克服されず、美である。

従つて統一戦線の結果と今後の発展を弱くし、一時的なものに終る状態にあることである。

第三に相当数の文芸宣伝がなされず構うべき意識的計画的な機関紙の運用の軽視である。選挙第一主義で大衆政治の方向を配布さすことが出来ぬ。

第四に政治的階級的宣伝の決定的不足である。困難な条件下特に分派の妨

2013

害にも拘らず全カで宣伝がけは出来たが、おれ程広汎且多數の人々が大隈応後に出され、
 「大隈さんには仰ぐます」だけで果に平和と独立を求めの全面講和の政治的自覚も持たせ統一ある所効もさし得なかつた。其がこれを示している。
 形式的な考へ方は社会主義主義者の多くにも不充分であつた。

第五に、戦路拙劣、攻具目標の不充分

越年斗争の高まりの中で始められたる一選がこの力強、高まりによつて結合されず、正月と今所に依滞してしまつたことは、戦具の拙劣の故が明らかでない。斗争の目標の不充分に原因する。

形式的統一戦線の考へ方は却つて反ソ、反共的態度を見送り客觀的に許され所さであつた。

第六に分派に対する斗争の不充分、分派斗争が長期且つ困難な途であることを示した。分派中下が一万六千票余をとつたことはブルジョアの圧倒的大量宣伝に対し、党の宣伝は少量で中下が党名のみを依存して何も知らない、党内党支所等の票が投せられたことも言ひ得る。しかし農村での中下の一万票はわが党組織の再建において、農村が完全に取残さされ、陥没的空白であることを

示す。しかしこの数字は同時に分派と争いがまだく終つていないことを示している。佐伯部では我が党の組織があるにも拘らず細胞も効かず地元の指導性不充分の局果下唯一だけこで分派の得票が前参議選より多いと言ふ結果を示し。しかもこの部だけが果下で自由党の勝つた部である。同部の中でも細胞の争つた所は明らか成果が現はれている。中下の統得票数の統一に補正する比率は三%弱であるが農村で党の影響力のないところでは平均一—二%で(例・山果部美和村、大原四二六中下二) これまで細胞などあつた村はかつて六七%(山果部安野村、大原五七〇、中下三六)である。これは広島市での五%強(大原六二五、四、中下三一三七)とも併せ農村都市の小ブル層従来の党支持者層に根柢をセクトと分派の根があることを証明し分派争いがまだく長柄且つ困難であることを物語っている。

第七、財政の軽視がある。

党常任は殆んど寝食を忘れた。この状態を争つた。その労苦は高く評価すべきであるが自慢し得るものでない。

当面する地方選挙に傷つても至急財政の確立をしなければならぬ。此の通り

4.

この形式を一時的に留め、従来の財政輕視は至急克服しなければならぬ。

これらの欠陥を綜合すれば各級機関の政治的低下、具体的指導性の不充分として何れも細胞が確立しなければならぬと云うことだ。

吾々はどうしてもまず基本組織である細胞の確立、再建を計りこれによつて当面する諸斗争と全面講和、全在領軍の撤退の政治的スローガンを結合し斗争を前進しなければならぬ。機関の問題もこれによつてのみ解決され得る。

永く果敢を決心し、これに完全に出陣し孤立した。又かつては天下の呼びかけた分派も消滅した。しかし問題はむしろ今在にある。朝鮮の軍事的失敗をとり返すため特に吳、広益を中心とする旧軍の施設を、旧軍の基地化、弾化はより急速に強行されるであらう。

果敢を始め市町村の末端まで地方権力の大部分が売国奴によつて独占され、吾々は一人残らず売国奴を叩き出すことが出来なければならぬ。

勝利の酔いごとなく、謙虚に、この勇敢に今回の斗争の教訓を生かし出陣しつある売国奴自由党と最も忠実なる番犬になり下つた分派に徹底的な追撃を加へ、文字通り粉砕しなければならぬ。

以上

二六、二一九(三一三)

一、二〇〇

朝鮮人党(主流派)の動向について
朝鮮人党(主流派)に於ては日共主流派の党勢拡張と
平行して中国地方並に縣下の組織を充実強化せんと画
策中であるが本月九日頃

元朝連中総本部組織部長

元氏青中総本部(初代)委員長

中央オルグ

尹鳳采

が中国地方のオルグとして来廣し(三十一年)系廣中の

潤永 (一ヶ月)

と共に活動中であるがその当面の期間は

広岳縣 自二月十日 至二月十五日

岡山縣 自二月十六日 至二月二十日
 山口縣 自二月二十一日 至二月二十四日

の模様にして活動方針は

1. 国際派の切崩工作
 2. 大衆地盤を獲得する
 3. 資金カンパを以て機関紙活動を行う
- 等であるが本月十六日

安芸部矢野町 某方

に於て中国地方のキヤップ（広島四名、岡山、山口、松根、各一名、与取不参）参集の下に前記方針を決定した。が中央ホルグ、尹鳳求は、潤、永一と共に十八日岡山縣方面に向つて模様である。

以上

岡山縣 自二月十六日 至二月二十日
 山口縣 自二月二十一日 至二月二十四日

の模様にして活動方針は

の模様 国際派の切崩工作

又天象地盤を獲得する

資金盤を以て組織活動を行う

本府十六日

本府十六日 安部大野所

於て中国地方のキヤンパ宏密四名 岡山 山口

各一名 等取不参 参集以下 記方針を決定

各々中 疾不取 参集 永一 共

山口方面 山口 模範 永一

山口方面 山口 模範 永一

以上

CORRECTION

THIS DOCUMENT
HAS BEEN REPHOTOGRAPHED
TO ASSURE LEGIBILITY

岡山縣 自二月十六日 至二月二十四日
 山口縣 自二月二十一日 至二月二十四日

の模様にして活動方針は

- 1. 国際派の切崩工作
 - 2. 大衆地盤を獲得する
 - 3. 資金カンパを以て機関紙活動を行う
- 等であるが本月十六日

安芸部矢野野 某方

に於て中国地方のキヤップ(広島四名 岡山 山口 広島 根
 各一名 与取不参) 参集の下に前記方針を決定した
 が中央オルグ 尹鳳求は 潤 永一と共に十八日岡
 山縣方面に向つた模様である

以上

二六、二、二三、(三五七)

一、二、〇、〇

① 主流派の動向について

縣下に於ける② 国際主流派は完全分裂の域に達し、両
者間の斗争並に党員の獲得は一層深刻の度を加へつゝあ
るが是の磨擦は日鋼事件その他の事件を繞る法廷斗
争にまづ反映進展しつゝあつて即ち一月三十一日周延せ
らる日鋼事件の公判より

被告人

香川一彦

は従来の弁護人

高橋武史

榎原隆一

を分派主義者であるとの意向をもつて単独で解任の措

置て執り高橋 榎原と共に弁護人であつた原田香苗史
は進んで辞任する等 右香川一彦は弁護人皆無の状態
況となつて止むなく前記公判より

弁護士

本間 大吉

が國選弁護人として弁護に為る等微妙な空糸を醸し
たが更に本二月一日附中国新ツツ紙に「山崩壊か自由法
曹因中国支部」と題する記事が掲げられしに至つて党
主流派に於ては翌二日別紙説明書を下部枝園並に
党員の配布する等注目すべき動向を見せ居るが将来
尚相克の相克があらゆる面に露出されることか予想され
ているので報告する。

以上

平和と独立のための斗争の犠牲者諸君に

党と人々のコースを歩まねんことを訴える

一九五一、二、二、日本共産党広島縣委員会

党内に発生した悪質な派を克服して人々の期待する純潔な党を再建
し、わが縣委員会は最近平和と独立のための斗争の犠牲者の救援、同
題、法廷斗争の改善と大衆路線化を真剣に考へ、この結論を党外と
党内の犠牲者におはかしてこれに直ちに実行に移さねんことをお願い
する、日本の労働者階級の斗争史に不滅の成果を加えた日鋼事件も、
始め縣下に起きた内外反動の不当弾圧事件のため現在尋ねる同志諸
君が公判と斗争している。

かつてわが党に組織的に参加しておられたいと不拘、二水らの輝ける斗
争の先頭に立つて諸君に対して今こそ更に革命の勝利の日まで、前日と
同じくわが党と共に歩まねん事を吾々が望む、は昨年七月以来わが
党に発生した分派による混乱と頹廢が諸君の現在の斗争にまで

害毒を及してをりしかも党の再建が漸く之を問題とし処理することが出
来るようになったからなのである。

先ず我が党真犠牲者陣圧事件に對抗して闘うすべての行動を民
族の前途階級の前途として一貫し身を以て即ち先の大辞史をなく

愛國的人英雄主義の思想を示さなければならぬ。

特に人々の指導者ぶるのを排し人々の忠実な一兵士としてすべてを民族
解放の爲に人々自からの統一戦線を張る爲に献身しなければなら

ない。

二川に共鳴して共闘、党外犠牲者諸君を含めてその周囲に広汎な

救援活動を起こし、民族戦線組織としての労農救援会を完成

させることは我が党の重要な任務である。しかしこの二川の前提として我

々は曾ての縣委員会と誤つて指導が犠牲者諸君の闘いを階級的

傾向に陥らし、又党員保護士のセクトと利己心を生んで現在見られるよ

うにこの中に相当数の分派主義者や分派の影響を二川の諸君を完全

に排除する状態から直ちに脱けさうなければならぬ。

最近一部の者が党員被告が党員弁護人 某々氏等の弁護を受けること
 を停止した。これはこの弁護人らが水川への半年に亘る忍耐強い説得と自
 らも又分派の理論的実践的誤りを肯定し、るに不拘らず分派の影響力
 を断ち切つて九十直に党に復讐しようとするに止を得ず水川に力
 である。この時日 鋼事件の被告同志 香川と交はる水川論議は従来
 争が全体としていかに階級的であり且セクト的であったかを示す。最近
 は証拠がある。

K氏は「党員としては復讐しなればならぬ」とその時は自己批判しな
 ければならぬ英があることは知っている」と認めながら「自分が党員として
 なるか弁護士として弁護するかの文句があるか」と言っている。

これは新日本文学会等の中央文化グループの悪債分派について問題と
 して分派主義の根本的である。弁護(文化)と政治の分高力至は我々誠
 心の提言を受け入れ水川で諸君が首で弾圧の現場で扱われ対決した時の
 人道的英雄主義に立ち返つて諸君の周囲に中広の統一戦線を結集し

又

救後会の組織は弁護士が中心でなく有能な組織活動者を中心として大衆路戦に立ち上りその上で弁護士が力を誠意を以て求めるべきである。我々の現在の斗争の目標が基本的な人权的剥奪や重税等に対する反対で平和的独立をほじめに願う人々なら誰しも提唱し得るべきであるから。こそや川ノハは共産主義に殊具成するが否かハシッテルで偏見を持とうとしないのである。斗争の形態は犠牲者諸君と救後組織が中心である。て弁護士が中心でないから時々には國選弁護士によつて國費負担を要求する。ことも例えれば我々が生活保護法適用斗争を起していることなどにくらべて当然正しいことである。

氏族の危機とその集中的表現である我が党が直面している困難はすべてこの党員がプロレタリアートの規律に素直なボルシェヴィキになることを要求してあり曾て府内敗北して我々共産党が党内で地方委員や縣本員長だけは規律を破り破れんに關係しても許されたり選挙うと思えば選挙でと云つては階級的立場の立つ自由法曹団の弁護士はブルジョア弁護士にくらべて裁判所にいらまはるる不利はな

いかしと云う 権力に対する恐怖を示したもので一見全く若者自身に
 此の言葉は其意旨に隠さずいふに必死の判決が軽くなつたと云う小
 ブル的な利己心による動搖を表す以外の何もでもない。パージ及対の
 法廷斗争を始すべし民族と階級の明確な政治路線で権力と斗争と
 さういふのではなくこの利己心が隠さずいふのでは人民の信頼を獲得するこ
 とは出来ぬ。これは左翼的言葉で裏返せば日和見とセクト主義
 の意味である。赤色労働組合主義の思想で我々はこれ我々の党の過去
 の誤つた指導の影響に對して深く責任を感じず諸君が正しい共産
 主義者であるならばまた斗争している同志ならばいま戦争の危機の中
 で革命的情熱が急進し広汎な人民層の政治的昂揚が起りつゝある
 ことを認められるであらう。

こゝ中では斗争はない運動は萎縮せざるを得ない。此下に於ける救
 援運動の現状がそれである。
 その物らしい及充足はあくまで平和と独立の爲の斗争の犠牲者諸君

が中心となり階級的弁護士と銘打っていない弁護士をすべて教と見なし
 て恐れている狭いセクトだと云政治的信念や立場を固執しようとする平和
 と独立を望む一党で諸君の斗いも理解し得る人との統一戦線を拒否
 するゴウ慢な独善として意識的な分派の諸君として（諸君等自
 らさうな事を想定して見よう）川老原句は右翼日和見解
 克主義者階級的であり、怒濤横流で裏切りを繰り返す人間が苦
 であるからこれまで甘んじてその弁護を受け許さなく今でも原句
 が問題ではなく川老香川の為の善意の党外の弁護士が法廷に立つこ
 とさえ潔しとしないと言ふのであるからこれは諸君の川老原句に対する罵
 例が諸君が派意証に燃え大恥すべき虚言であったこととこの法廷斗
 争でも諸君は純潔な階級的良心や克己階級の立場などは凡そ
 縁も由りもない無原則的立場に立つていることをバク口するもので
 ない。その他の諸君も水くはお訴えする。
 「階級的でない弁護士は不利だ」と言ふのはつまり階級的事件のことも
 知っている弁護士でないと巧い弁護をして呉れないから不利だ。この階級

的^レと云うのは階級的立場に立つた意味ではなく階級的事件を
 扱^レいながら技術と云う事に級する^レと云う事でも同じ言葉の中で
 「自分も自由法曹団の中より保置するわけ弁護(文化)第一主義
 でこれは「高尚」なブルジョア文化人達の生む思想である。
 これは資本主義制度の中に現われる諸々の頹廢や墮落も軽蔑
 したのと同じように今日の深刻な民族的危機の中で労働者階級を
 中心とし全人民のほげし政治斗争やその指導者達も軽蔑又は軽
 視し自からも高しとする「ブルジョウ慢」である。
 この弁護人たちが何事かの従^レて党が必至のもの利益を守^レている民
 族と階級の立場から弁護をしようとするのでなかつたことを二小程雄弁に
 語る言葉はない、しかもこの日鋼事件の被告諸君特に今派の諸君は
 同志香川の為に快く國選弁護士を引受けられ一弁護士を「ブルジョ
 ンと云ふつてこの様な階級でない弁護士をつけるのは不都合だと稱し
 同志香川が解任して弁護士なる同志原句の弁護でも川と強要

した

党外の被告諸君の中からは階級的でない弁護士がこの法廷に立つたは不利である香川がこのような個人的な弁護人を選任するより自分も自由法曹団以外から選うと思へば選べたのだ」と発言もあつた

この事 K氏の言葉もまた深刻に諸君等の思想の本質を表わしている

卒直に言つてこの程分派の思想を言い表したものはない

或る人達には特別席を与えて名義席もつたり犠牲者なるが故に等

快して甘やかして置くが党は断乎一掃されなければならない、早く逃べ

た K氏は何れも香川に対し「自分の弁護が君達に不利益であつたか」

と云つてこの人達の弁論が巧妙なるればなるほど、此の統一を妨げる中

道的立場の影響を強めてくる事、毎度者である党のボルシェヴィキ

氏に依つて今までの特別席が党内に見出せなくなつたこの人達に、党の担

任の何であるかを知つてこの水に従うか、少くとも此の党を支援して世具うか

ぬに水はくは分派の斗争を経験から單なる説得は如何に優れ

自己批判をこらる条件をつつたのである。このことを苛酷であると云う
 は共産主義者に要求されるもので何人にも素直な人ならざる
 ことだ。服する人民の規律を知らぬものである。わたくしは又今斗
 つてのすべての犠牲者諸君にこの党と人のコースに立って諸君の革命
 戦^士としての功績を更に不滅なものにせん事を訴えます。特に分
 派の諸君が真に正しく斗われようとする直ち党に復讐する以外の途
 はないこと。階級斗争の真慈悲の冷厳な事實は階級と党を忘れる
 者の片末を示しておることを知つてこはは當日共闘つた諸君とつて
 も我々と同じく悲劇である事を反省せしめ党外の同志諸君の忠告も
 も受けてわれくと一致団結せん事を厳に希望する。

終りに日中同盟の報せられぬ際、委員会の方針をなすものは我々
 の方針でもなく又我々が発表したものでもない事を明にする。我々の
 高橋 桐原 両氏を国際派と断定しなごなく 断定しなごる為最後の

手彼をいつているがである。上述のわねくくのボルシエウイキ釣コースと
 商業新報の記事を一貫する思想で兆発的を世責注を曲解に
 対し直ちに抗議した事を附記する。

以上

二六二二三(三五四)

一二〇〇

第二報

地方選挙を繞る自由労組の動向

一 既報本委員会於ては書記長吉田治平を市議を候補として
推す事をも申し合せ聲明以來組合内部に微妙な空気が漂いつ
し組合幹部の紛争が表面化せんとしている

二 問題は自由労組委員長瀨川種男と書記長吉田治平
の対立に瀨川は昨年末執行部の改選以來次期地方選挙
出馬の野心を抱いていた模様にして
① 奥你よりむしろ一般労
務者の好意をもたれてゐる事を脊影として立候補せんとし
て
② 過日の執行委員会に於て吉田を推すに憤懣があるも
一方吉田の① 主流派の手痛い批判を利用して自己表現を策謀

三 寄却其他の於ても両者の対立は漸次表面化して居り之の併行河内労組①真の間の勢力争いが山崩芽し松平執行委員小川勝は主流派①真キヤブとして前執行部の急進三谷藤四郎と共に急進分子を自己陣営に引込み暗躍して居り此際自由労組を①主流派の尖鋭牙

城とせんとして居る

四 資金面については相対行がまわっている模様で組合員(一ヶ月十名)納入も平均十五名程度で甚だ積資金もなく河内労組内紛がなすめしの処行も末ズ三派と云う低調で直接関係者の吉田治平並に教育宣伝部長(中田昭一)日鋼が青年部長(被整理者)も焦燥を感していること

五 労組①真の異動説については
 (1) ①真 松田俊也 (老トランク座主幹)
 トランク座資金難により解散昨年九月より日雇労

務者として純労務組執行委員に選ばれ文化面を
 担為活躍してゐるが最近東京在籍の某劇団の委員と
 して迎えらる事が決定近日上京することになった
 (ウ) ① 貞 中 井 正 照
 組合設立当時委員長であつた労組内 ① 大鏡介子と
 して活躍してゐるが最近組合を脱退し数日中九州
 方面に転居決定転出する模様である。

以上

000.1

file
Kimura

Two Communists Raising Fund in Gotsu-machi

Two Communists, Heikichi Takahashi, peddler, of Fukuura-mura, Nima-gun, and Masafumi Watanabe, member of the Sekito District Committee, native of Yunotsu-machi, Nima-gun appeared in Gotsu-machi, Naka-gun, on 31 January at around 13:30. Both are ~~so-called~~ members of so-called "international group" of the Communist Party.

In connection with their raising fund, they said to the following effect:

"Soju Kimura, Communist ex-village head of Kibe-mura, Kanoashi-gun was rounded up on the charge of the violation of the Imperial Ordinance No. 311 and sentenced to 7-year of hard labor and a fine amounting to 500,000 yen at the Kokura Military Court.

"In fact, he (Kimura) did not act against any law. Reason is this. He has nothing to do with this case. One of the employees of the village office put up "wall-paper" regarding what broadcast over the Radio Seoul. He has been subjected to the unjust police steps, and his family has been left in the lurch. They will have no choice but to starve to death, if they are not taken care of. We cannot but take a pity on them. We hope you will contribute some of money to save them."

In order to collect fund, they visit Government and public offices and others. Centering on Yunotsu-machi, they are raising fund far and wide, the police heard.

~~_____~~

Filed 2/17/51

CP *Electors*

Hiroshima Chiken Hatsu
No. 50
10 January 1951

Subject: Regarding Reception of Prosecution Case on Misrepresentation of Party Name and Crime on Violence Against Hiroshima Prefectural Governors Candidate, Masaru Nakashita and One Other.

To: Messrs, CCAR

From: Genichi Matsui
Chief Public Procurator
Hiroshima District Public Procuratorial Office

In reference to the above caption on the 6th of January, at the Hiroshima District Public Procuratorial Office an identical copy of the accompanying prosecution docket had been received. We are hereby submitting same for your information.

Warrant of Accusation

Name: Tsuneyuki Murakami

Accuser: Ditto

Affiliation)
 Rank) Manager, Hiroshima Prefectural Committee, Japan Communist Party.

Address: No. 2345 Oshiba-cho, Hiroshima-shi

Name: Masaru Nakashita

Accused: " "

Rank: Candidate for Hiroshima Prefectural Governor

Address: Ujina-cho, Hiroshima-shi

Name: Toshio Yamada

Accused: " "

Rank and Address: Former Hiroshima Prefectural Communist Party Committee of the above address.

The Gist of Accusation

Facts on accusation on crime of violence and on misrepresentation of party name committed by Nakashita and his colleague (Violation of Public Election Law; Article 235).

The Facts on Accusation

1. The above accused, Masaru Nakashita, is running as a candidate for Hiroshima Prefectural Governor's Election which is to take place on 22 January 1951. Formerly he had been a member of the Japan Communist Party but on 5 December 1950 in spite of the formal expulsion conducted by the C.B. Hiroshima Prefectural Committee (Temporary Guidance Group), on 26 of the concurrent month misrepresented as a member of the Japan Communist Party; forwarded candidacy to the local election control committee. On 31 of the same month the accuser as the representative of Communist Party had issued a formal statement to the chairman of the Hiroshima Prefectural Election Committee, requesting the issuance of warning to the accused and to deal judiciously on the situation. Moreover to Rikito Watanabe in front of the election office, No. 135, Tatemachi, Hiroshima-shi and to Yoshiaki Ishimoto in the office of the former Hiroshima District Committee, former Japan Communist Party, located No 1, Motomachi, the accuser has requested to inform the accused to discontinue his election campaign by misrepresenting in using party's

-2-

name. On 5 January 1951 at the competitive public address conducted in Yoshida-cho, Takata-gun in the presence of the plenary election control committee of the same town, Karuo Harada represented his party, had shown a confirmation report telegram dated 4th of concurrent month in regards to the expulsion of Masaru Nakashita. In spite of the advice given by Harada, the accused roared, employed violence in retaliation, conceiving that he was no more of a regular member of the party to commence with this election address and to all of the competitive election addresses, the accused has falsely publicized by posting posters of notices on public addresses, tagged candidates names in the hall, employed radio facilities for the purpose of obtaining winning election.

2. A little before 1300 hours, 5 January 1951 in the waiting room of the competitive hall of Fukusenbo, Yoshida-cho, when Karuo Harada forwarded a petition, the accused Toshio Yamada who was close by, by roaring, "we have nothing to hear from you", raised his right hand struck several times on the neck and with his left hand attempted to thrust him away thereby created violence. Since about July 1950 the accused have turned cat's paw for reactionists who are trying to break up Japan Communist Party. They have unnormally confined party members, committed, violences with injuries, commenced transacting offices, began seizure of party assets with all shamefulness. The accuser had been once previously manhandled and Karuo Harada twice previously. The present misrepresentation of party name is also the highest degree of shamefulness. Their acts are objectively the enemy of the Japanese racial prestige. Not only as traitors to the prefectural inhabitants but ~~unbeneficial~~ to the rest of the people. It could be compared with the criminal who attempted to murder the chief of secretary, Tokuda, the most cowardice. Upon these circumstances we have finally turned over same to your administration.

1. Two letters of expulsion notice. Testimonial on competitive address issued by the election control committee of Yoshida-cho.
2. Witnesses are Karuo Harada, Satoshi Nakamura and the plenary members of the election control committee of Yoshida-cho.

Dated 6 January 1951

TO: Mr. Matsui
Chief Public Procurator,
Hiroshima District Public Procuratorial Office

FROM: Tsuneyuki Murakami

TELEGRAM 1

Dispatched from:

Hiroshima Prefectural Committee,
c/o Mineo Mitsuda,
No. 1293, Minami Sanjo, Hiroshima

Content: Your petition confirmed on expulsion of Masaru Nakashita and colleagues. Japan Communist Party Control Committee.

TELEGRAM 2

Dispatched from:

Hiroshima Prefectural Committee
c/o Mineo Mitsuda
No. 1293, Minami Sanjo
Hiroshima.

Content: Masaru Nakashita and colleagues are dismissed from memberships.
Headquarters.

Dated 5 January 1951

SUBJECT: Request Authentication of Case

TO: Messrs, Yoshida-cho Election Control Committee

FROM: Kaoru Harada,
No. 38 Itchome, Hachiman-dori, Kure-shi

Request following be authenticated:

1. On 5 January 1951 at Fukusenbo election competitive speech hall, Yoshida Machi, Takata-gun, about 1300 hours I have requested Nakashita not to use party's name as his name had been excluded from the Communist Party, shown him two telegrams from Tokyo Headquarters. The accompanist Toshio Yamada said, "We know we have been expelled from the party," and refused warning. The Yoshida Election Control Committee was also notified of the misrepresentation but the control committee's reply was that there is no law to deal with it at the present time.

2. In the course of an address given by the subject candidate:

"I am nominated as the candidate by the Japan Communist Party; by the All Japan Shipbuilding Labor Union; and the Kure Labor Cooperative Union."

"I am determined to die for you at the coming 22th election. I desire your assistance given to a youth of 30th. There is the candidate, Mr. Wakuda, who is to speak later and slander Communists, by please listen carefully of what I have to say. I represent your class and I desire your assistance."

3. There were his names printed on posters for competitive election addresses posted at fifty different localities in Yoshida-cho, with Communist Party affiliation. There was also his name and party affiliation printed on the list of candidates poster within the hall for addresses.

END

Dated 5 January 1951

The above I certify.

Sataru Nakamura,
Clerk, Election Control Committee
Yoshida-cho.

Activities

Hiroshima Chikew Hatsum,
 No. 50,
 10 January 1951

Subject: Regarding Reception of Prosecution Case
 on Misrepresentation of Party Name
 and Crime on Violence Against
 Hiroshima Prefectural Governor's
 Candidate, Masaru Nakashita
 and One Other

TO : Messrs, CLAR

From : Genichi Matsui,
 Chief Public Prosecutor,
 Hiroshima District Public Procuratorial
 Office

In reference to the above caption on ^{the} 6th instant
 at the Hiroshima District Public Procuratorial
 Office an identical copy of the accompanying
 prosecution docket had been received.
 We are ^{herewith} submitting same for your information.

Warrant of Accusation

* name: Tsuneyuki Murakami
 accuser: Ditto
 affiliation): Manager, Hiroshima Prefectural
 Rank Committee, Japan Communist
 Party

Address: no. 2,395, Oshiba-cho,
 Hiroshima-shi

* name: Masaru Nakashita,

accused: Ditto

Rank: Candidate for Hiroshima prefectural
 governor

Address: Kijina-cho, Hiroshima-shi

* name: Toshiro Yamada,

accused: Ditto

Rank and
 Address: Former Hiroshima Prefectural
 Communist Party committee
 of the above address

Thegist of Accusation

Facts on accusation on crime of violence
 and on misrepresentation of party
 name committed by Nakashita and
 his colleague (Violation of Public Election
 Law; Article 235).

The Facts on Accusation

1. The above accused, Masaru Nakashita,
 is running as a candidate for Hiroshima
 prefectural governor^{election} which is to take
 place on 22 January 1951.

Formerly he had been a member of the Japan Communist Party but on 5 December 1950 in spite of the formal expulsion conducted by the ^{CP} Hiroshima Prefectural Committee (Temporary Guidance Group), on 26 of the concurrent month misrepresented as a member of the Japan Communist Party; forwarded candidacy to the local election control committee. On 31 of the same month the accused as the representative of Communist Party had issued a formal statement to the chairman of the Hiroshima prefectural election committee, requesting the issuance of warning to the accused and to deal judiciously on the situation. Moreover, to Rikito Watanabe in front of the election office, no. 135, Patemachi, Hiroshima-shi and to Goshiaki Ishimoto in the office of the former Hiroshima district committee, former Japan Communist Party, located no. 1, Motomachi, the accuser has requested to inform the accused to discontinue his election campaign by misrepresenting in using party's name.

On 5 January 1951 at the competitive public address conducted in Yoshida-cho, Nakatsu-gun in the presence of the plenary election control committee of the same town, Karuo Harada represented his party, had shown a confirmation report telegram, dated 9th of concurrent month in regards to the expulsion of Masaru Nakashita. In spite of the advice given by Harada, the accused roared, employed violence in retaliation, conceiving that he was no more of a regular member of the party, to commence with this election address and to all of the competitive election addresses, the accused has falsely publicized by posting posters of notices on public addresses, tagged candidate's name in the hall, employed radio facilities for the purpose of obtaining winning election.

2. A little before 1300 hours, 5 January 1951 in the waiting room of the competitive hall of Fukukenbo, Yoshida-cho, when Karuo Harada forwarded a petition, the accused, Toshi Yamada, who was close-by, by roaring,

"We have nothing to fear from you",
 raised his right hand & struck several
 times on the neck and with his left
 hand attempted to thrust him away
 thereby created violence.

Since about July 1950 the accused have
 turned cat's paw for reactionists who
 are trying to break-up Japan Commu-
 nist Party. They have unnormally
 confined party members, committed
 violences with injuries, commenced
 transacting offices, began seizure of
 party assets with all shamefulness.
 The accuser had ^{been} previously man-handled
 and Karuo Harada twice previously.

The present misrepresentation of party
 name is also the highest degree of shame-
 lessness. Their acts are objectively the
 enemy of the Japanese racial prestige.
 Not only as traitors to the prefectural
 inhabitants but unbeneficial to the rest
 of the people. It could be compared
 with the criminal who attempted to
 murder the chief of secretary.

Tokuda, the most cowardice.
 Upon these circumstances we have
 finally turned over same to your
 administration.

~~Circumstantial~~ Evidences

1. Two letters of expulsion notice.
Testimonial on competitive address issued by the election control committee of Yoshida-cho.
2. Witnesses are Karuo Harada, Satoshi Nakamura and the plenary members of the election control committee of Yoshida-cho.

Dated 6 January 1951

To: Mr. Matsui
Chief Public Prosecutor,
Hiroshima District Public Procuratorial
Office

From: Tsuneyuki Murakami

Telegram 1:

Dispatched from:

Hiroshima Prefectural Committee,
c/o Mineso Mituda,
no. 1293, Minami Sanjo,
Hiroshima

Content:

Your petition confirmed on expulsion
of Masaru Nakashita and colleagues.
Japan Communist Party Control
Committee

Telegram 2:

Dispatched from:

Hiroshima Prefectural Committee,
 of Mineo Mitamura,
 no. 1293, Minami Sanjo,
 Hiroshima

Content:

Masaru Nakashita and colleagues
 are dismissed from memberships.
 Headquarters

Dated 5 January 1951

Subject: Request Authentication of Case

To: Messrs,
 Yoshida-cho Election Control Committee,

From: Masaru Harada,
 no. 38, Itchome, Hachiman-dori,
 Kure-shi

Request following be authenticated:

1. On 5 January 1951, at Fukukenbo, election competitor's speech hall, Yoshida-machi, Takata-gun, about 1300 hours I have requested Nakashita not to use party's name as his name had been excluded from the Communist Party, shown him 2 telegrams from Tokyo Headquarters. The accompanist Toshio Yamada said, "We know we

have been expelled from the party," and refused warning. The Yoshida Election Control Committee was also notified of the misrepresentation but the central committee's reply was that there is no law to deal with it at the present time.

2. In the course of an address given by the subject candidate:

~~"I am a member of the Japan Communist Party;~~

"I am nominated as the candidate by the Japan Communist Party; by the All Japan Shipbuilding Labor Union; and the Kure Labor Cooperative Union."

"I am determined to die for you at the coming 22th election. I desire your assistance given to a youth of 30th. Here is ^{the} candidate, Mr. Wakuda, who is to speak later and slander Communists, by please listen carefully of what I have to say. I represent your class and I desire your assistance."

3. There were his names printed on posters for competitive election addresses posted at 50 different localities in Yoshida-cho, with Communist Party

affiliation. There was also his name
and party affiliation printed on
the list of candidates poster within
the hall for addresses.

ENP

Dated 5 January 1951

The above I certify.

Sataru Nakamura,
Clerk, Election Control
Committee,
Yoshida-cho.

Translated
20 Jan 1951
Nm

廣島地檢發第五〇號

昭和二十六年一月十日

廣島地方檢察廳檢事正 松 井 善

中國地方民事本部 御中

廣島縣知事立候補者中下藤外一名に對する黨名
詐稱並に暴力罪による告發事件受理について

標記の件別紙告發狀寫のとおり本月六日廣島地方檢察廳にかいて事
件を受理したので御參考のため報告します。



檢察廳

三 藤田 五日平書一 藤田 吉田 田中

藤島市大芝町二、三四五番地 日本共産党藤島県

委員会主席 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市

藤島市 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市

藤島市 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市

藤島市 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市

藤島市 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市

藤島市 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市

藤島市 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市

藤島市 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市

藤島市 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市

藤島市 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市

藤島市 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市

藤島市 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市

藤島市 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市

藤島市 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市

藤島市 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市

藤島市 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市

藤島市 藤島市 藤島市 藤島市 藤島市

ことと詐称も在右選挙の立候補届行い、同月三十一日告発人が同
 党を代表して福島県選挙区に新人への報告書提出を申し入れ、また
 福島市立町三五番地選挙事務所前で渡辺功人等に基町一番地元日本
 一共産党福島地区選挙区事務所内で石本義明等に同人の選挙運動者と
 して党名詐称を中止せよと同人に伝達を申し入れ、昭和二十六年一
 中月五日高田郡吉田町立会演説会場で同町選挙管理委員会全員立会
 下に原田香智夫が同党を代表して中下勝の除名に対する同月四日附
 同党本部統制委員会の確認通知電文を示して警告したのに対して
 怒罵、暴力を振つてこれを拒否し自ら被除名者で党員でないことを
 知り乍ら、同演説会を始め県下各地演説会の演説はもろろ入公演
 演説の告知ボス等、会場内の候補者の掲示、放送等を利用して同
 党員であることを偽称宣伝し当選を得る目的をもつて虚偽の事項を
 公表し大まかに、三回、四回、五回、六回、七回、八回、九回、十回、

二、前記五日午後一時前頃吉田町福泉坊の立会演説会場控室に於て原田

香留夫が申入を行つた際傍に居た被告発人山田俊雄は「お前から話を聞くことはない」と等と怒罵して右手拳で同人の右、喉首を数回打ち、左手で同人の身体を突き飛ばさうとして暴行を加えたもので、右被告発人等は昭和二十五年七月頃いらい日本共産党を破壊する内外反動の手先たる分派として、多数の同党員に対する監禁、暴行、傷害、党事務所の売却を始め党所有財産の横領等の破廉恥罪を犯して来た一味で既にこの前に告発人は一回、原田香留夫は二回も彼等によつて暴行を受けているのであり、今回の党名詐称も同様の破廉恥極まる行為である。彼等の行為は客観的に既に民族の敵、売国奴として累下人民の利益を害するだけでなく會ての徳田書記長暗殺未遂犯人にも等しい卑劣漢であるから遂に貴庁に引渡した次第である。

証 拠 資 料

- 一 除名通知書二通 吉田町選挙管理委員会の立会証明書
- 二 証人 原田香留夫、中村智外同町選挙管理委員全員

検 察 廳

一 五人昭和三十一年六月十日長岡市警察署職員全員
一 福多敏昭等二名 吉田四郎警察署職員村の立止強盗 行

福島地方檢察庁 松井 正 殿

人... 昭和三十一年六月十日長岡市警察署職員全員... 福多敏昭等二名 吉田四郎警察署職員村の立止強盗 行... 昭和三十一年六月十日長岡市警察署職員全員... 福多敏昭等二名 吉田四郎警察署職員村の立止強盗 行... 昭和三十一年六月十日長岡市警察署職員全員... 福多敏昭等二名 吉田四郎警察署職員村の立止強盗 行...

Pelegriam!

ウ	ナ	セ	ミ	ヒ
サ	カ	ロ	ナ	ロ
シ	シ	シ	ミ	シ
ト	タ	マ	サ	マ
ウ	マ	ケ	ン	ト
ウ	サ	ン	ジ	
セ	ル	イ	ヨ	
イ	イ	カ	ウ	
イ	カ	ジ	ー	
ン	ヨ	メ	二	
カ	メ	イ	九	
イ	イ	シ	三	
ン	シ	ン	」	
ブ	セ	イ		
	イ	カ		
	カ	タ		
	ニ	ン		
	ス	」		
	ニ	ホ		
	ン	キ		
	キ	ヨ		

Telegram 2

ヒロシマ

ミナミサンジヨウーニ九三

ミツダミネオカタ」ヒロシマケンイイシカイ

ナカシタマサルイカジ ヨメイス」ホンブ

勝の昭和二十五年一月五日高田郡吉田町の知事選挙立会演説会場福泉坊
 吉田町内五十箇演説演説「共産人権第一日本共産党」の演説
 演説内容

「吾等共産党の演説は外資を逐う事である。日本共産党の演説は」

吉田町選挙管理委員会

演説内容
 演説内容
 演説内容

左記演説内容

昭和二十五年一月五日高田郡吉田町の知事選挙立会演説会場福泉坊
 演説内容
 演説内容
 演説内容

原田香留夫

検 察 廳

選挙管理委員会に対しては同候補が党名非載であるとして押入れ
 が、選挙委員会では如何に議決されたか、法に即してある旨、選挙
 法に即してある旨、東京選挙区
 三、同候補の横断線軍中不規則の取上げ、同選挙区日本共産党の
 一、同候補は日本共産党正、全選挙区労働組合の、選挙区の共産党候補
 式、選挙区に即してある旨、東京選挙区
 「来る二十三日の選挙には皆様のために死ぬ覚悟である、皆様にと
 つては僅か三十才の青年の私に御支援あらんことを望みます：：：
 後に立たれる和久田候補等が居るが私たちが日本共産党に誹謗を加
 言すると思いませんが、聞いておいて下さい：：：」
 「皆さまの階級を代表する私に絶大なる御支援を」と述べたこと
 三、吉田町内五十箇所に掲示した選挙立会演説会の告知ポスターの同候
 補の所属政黨欄に日本共産党と記載しました同日会場内演壇前の候補

署名の表示にも同党名を記載しあること

以上

右 照 明 す る

昭和二十六年一月五日

吉田町選挙管理委員会書記 中

村

智

8 January 1951

Subject: Hiroshima Prefectural Chapter of Communist Party
Sued Candidate Nakashita for Misrepresentation of
Party Name.

Hiroshima Prefectural Chapter of Nippon Communist Party sued Masaru Nakashita, a candidate for gubernatorial election, and Toshio Yamada, an ex-member of Communist Party, for misrepresentation of party name and violent acts by the name of Keiko Murakami, and executive of the Prefectural Chapter of the Party, on the 6th to Chief Procurator Matsui of Hiroshima District Procurators' Office. It was alleged to be the violation of the article 235 of the Public Election Law and the statement was given as follows by Keiko Murakami.

"Concerning Masaru Nakashita who runs for the gubernatorial election on misrepresentation of Nippon Communist Party, the Unification Committee of Nippon Communist Party Headquarters confirmed formally his expulsion from the Party on the 4th. On the 5th at the campaign speeches held at Yoshida-machi, Takata-gun, an attempt was made to request him to cancel his candidacy and return to the Party, and when an expulsion notification was about to hand over, Toshio Yamada poked Prefectural Committee Chairman Karuo Harada on his chin and neck to commit violent act."

Against this statement Campaign Manager Matsue of Candidate Nakashita told as follows:

"It is entirely false. It is nonsense and can not be possibly taken up. It is truly interference of election to put up such posters as this. Candidate Nakashita's running for the election is due to the support from Hiroshima Shipbuilders' Union and other labor unions. It shows that they are the one working for schismatic activities by this fact."

8 January 1951.

Subject: Hiroshima Prefectural Chapter of
Communist Party Sued Candidate
Nakashita for Misrepresentation of
Party Name

2 Copies

Hiroshima Prefectural Chapter of Nippon Communist Party sued Masaru Nakashita, a candidate for gubernatorial election, and Toshio Yamada, an ex-member of Communist Party, for misrepresentation of party name and violent acts by the name of Keiko Murakami, an executive of the Prefectural Chapter of the Party on the 6th to Chief Prosecutor Matsui of Hiroshima District Prosecutor's Office. It was alleged to be the violation of the article 235 of the Public Election Law and the statement was given as follows by Keiko Murakami.

"Concerning Masaru Nakashita who runs for the gubernatorial election on misrepresentation of Nippon Communist Party, the Unification Committee of Nippon Communist Party Headquarters confirmed formally his expulsion from the Party on the 4th. On the 5th at the campaign speeches held at Yoshida-machi, Takata-gun, an attempt was made to

request him to cancel his candidacy and return to the Party, and when an expulsion notification was about to land over, Jostio Yamada poked Prefectural Committee Chairman Karuo Harada on his chin and neck to commit violent act."

Against this statement, Campaign Manager Matsue of Candidate Nakashita told as follows:

"It is entirely false. It is nonsense and can not be possibly taken up. It is truly interference of election to put up such posters as this. Candidate Nakashita's running for the election is due to the support from Hiroshima Shipbuilders' Union and other labor unions. It shows that they are the one working for schismatic activities by this fact."

(From Chugoku Press, January 8, 1951)

Matsue

中下候補を黨名詐稱して告發
中一田共産黨縣委

日本共産黨広島県支部委員会は、主幹村上経行氏名をもちて広島市宇品町臨時立候補者中下勝、同町元共産黨員山田俊雄の両氏を党名詐稱（公職選挙法第三三五条違反）および無行詐として六日広島地裁松井検事正あて告発、同時に大要次の通り新聞を發表した。

今回の知事選に日本共産黨を詐稱している中下勝氏に対しては、四日日本共産黨本部執行委員会は正式に除名決議してきた、五日同郡吉田町立候補会会々々編で同氏に立候補を許さず党に復籍すべきを勧告、除名勧告を手段しうとしたところ原田香留美原委員長に対し山田俊雄氏はアコ、喉首を突き無行を加

そのにいたった
 なおこれに対し中下候補の松江編
 選挙局長は次の通り語った。
 全く事実無根だ、間違ひサヤと
 もさういふ問題ならぬ、この
 のよりなうをしたロウをば
 たらし、S.S.U.M.に明かに
 選挙妨害だ、中下候補は広島組
 合その他各団体の推薦によるも
 ので、彼らこそ分断主義者であ
 ることが事実をもつて証明され

From 1240.

CP 1 March 1951

0001 A to Placard displayed by C.P. in the fourth session of trial for violation of Imperial Ordinance 311.

The situation of struggle by C.P. against Public trial, surrounding a violation of Imperial Ordinance 311 dated 26 February, 1951 in Fukuoka City, was already reported to you.

We hereby report for your reference sake that on that day, a placard containing the following contents was displayed on the road in front of the entrance & exit of the building of Fukuoka Branch of Hiroshima District Court.

Items

- (1) Decision in the Second Peace Protection World Rally formed by representatives of 80 countries. (16 Nov. 1950 — 22 Nov. the same year. At Walszore, Poland)
1. The termination of the war in Korea, evacuation of army-troops of foreign countries from Korea, peaceful settlement of domestic strife by means of participation of representatives of the Korean people, conclusion by Security Council which has a complete organization including a representative of Chinese People's Republic.
2. Opposition to rearmament of Japan and Germany. Conclusion of peace treaty with the disarmed Germany & Japan. Evacuation of the Occupation Forces from both the countries.

3. Oppression by other nations as a colony of them, and opposition to a racial discriminative treatment in ~~any~~ ^{any} form.
4. Whatever pretext it may use, any country which attempts to use a military power at first, is the aggressor. Exclusion of the interference of the foreign countries' Armies with the domestic government.
5. The propaganda of a new war is one of the most ~~and~~ deplorable criminals. Adopt a law which deems any propaganda of a new war ^{as} a crime.
6. No matter what a political view it may be, prohibition of ~~the~~ cruel wholesale annihilation and of discriminative bombing. Investigation of crimes in Korea. Unconditional prohibition of atoms, bacteria, chemical arms, and other means which are used for "wholesale murders. Any government which used this first, will be made a war-criminal.
7. The big Powers should curtail all military powers gradually; coincidentally, proportionately within the scope of one-third, or one-second. Prohibition of atom-weapons and other annihilating weapons. Establishment of an international controlling organ which undertakes armament reductions and so forth: — This is the first step to abolish armaments.
8. Excluding economic distinctions of any type, recovery of a normal trade relation among every country, which guarantees the development of the national economy and etc.

3 The least estimation of cultural relation among every nation will make a faithless situation of each other, and will lead a war-propaganda to advantage.

On the other hand, the strengthening of cultural relation among each nation, will expedite a joint struggle for peace.

(2) Allegation on violation of the Occupational policy:

The fourth time public trial.

Collection of fund for the Labor & Agricultural Relief Association.

Relief patriots !!

The class-struggle in Japan, which is at the point of contact of confrontation between the two great points of the world, is the most severe.

Protect patriots who are struggling against colonization of the aggression of Imperialism and for the sake of the complete independence and emancipation of people of Japan.

Send relief-goods and money to those comrades who were put in jail by the improper oppression and who fought for class-trial.

Independence and peace of the Japanese people.

We who fought for freedom are of non-guilty.

昭和二十二年三月一日、東京に於て開かれたる世界大戦終結後初の平和会議に於て、日本代表は、

大東亞新秩序の確立に資するべく、日本は、戦後、平和の道を歩むこととなり、

昭和二十二年三月十一日、東京に於て開かれたる世界大戦終結後初の平和会議に於て、

（一） 日本代表の代表として、

三月二十二日、東京に於て開かれたる世界大戦終結後初の平和会議に於て、

一、朝鮮戦争の終結、

フクヤマ

の國內紛争の平和的解決、中華人民共和國代表との交渉を
完全な構成をもつ安保理事会での解決

二、日獨両軍備反対、統一、非武装ドイツ並に日本と請和協約締結

三、二か兩國からの占領軍撤退

四、他民族、植民地的抑圧とあらゆる形式の民族的差別待遇に反対

五、いかなる場合も他国に対し最初武力を使用せんとす

國家の犯罪的行為こそ侵略である、内政に對しては外國軍隊

の干渉排撃

三、新戦争の宣傳は人類に對する最も悲しむべき犯罪の一つである

いかなる新戦争の宣傳も犯罪となす法律を採擇せよ

六、政見のいかんにかかわらず一般市民の無慈悲な大量せん滅を

かへ無差別爆撃の禁止、朝鮮に於ける犯罪の調査、原子調査

化学兵器、その他大量せん滅のたりの手段の無條件禁止、最初に之を使用

世に政府を戦犯とすべし

七、大國は先づ一、二の軍事中、あつたる兵力を三分の一にして、二分の一は範圍に漸進的、同時的、比例的に削減するに、厚く兵器、其の他大量を削減兵器の停止、軍備縮小などの國際管理機關の設置——これは軍備削減の第一歩である。大國は先づ一、二の軍事中、あつたる兵力を三分の一にして、二分の一は範圍に漸進的、同時的、比例的に削減するに、厚く兵器、其の他大量を削減兵器の停止、軍備縮小などの國際管理機關の設置——これは軍備削減の第一歩である。

八、各國人民、内、外、文化關係の過少評價は相互不信の狀態をつくり、戦争の宣傳を有利にする。他國人民間の文化關係の強化は平和をつくり、共同平等を促進する。その為め各國人民間の文化關係の改善と人民の文化財の研究の促進諸事業を提議する。

九、各國人民、内、外、文化關係の過少評價は相互不信の狀態をつくり、戦争の宣傳を有利にする。他國人民間の文化關係の強化は平和をつくり、共同平等を促進する。その為め各國人民間の文化關係の改善と人民の文化財の研究の促進諸事業を提議する。

占領政策の違反及容疑

集募 會救 農勞

四國 公判 愛國者も救へ!!

世界史の大轉機の時、特種部隊である。天竺の救済、
日本は特種部隊の最も激しいである。天竺の救済、
帝國主義侵略の植民地化、日本は特種部隊の最も激しいである。
完全救済の人民の解放のため、
半世紀の愛國者も人民の手で救済の風潮、
不当の弾圧に捕はれた救済の同志、
階級下判と斗え、同志へ

日本の民族の独立と平和
自由のため、
俺たちは無罪だ!!

000.1
13 February 1951

No.265 - 1200

Subject: Regarding Activities of National Faction;
Communist Party

In regards to the establishment of the cooperative union contemplated by the national faction, Communist Party as it had already been reported on Tai No.788, 20 December 1950, their recent activities are being forwarded in the following manner.

1. The national faction of the Hiroshima district committee have already established a cooperative union office and commenced her activities. Not only the business section in the east area but in Suzaki, Okawa districts the enhancement of its organization is being planned. Well established business firms have joined its group giving a strong foundation for the Communist Party to widen sphere of influence in the organization.

2. The enterprising union is collecting a membership fee of ¥600 with other minor union expenses which run up to a considerable amount, making possible to have a reserve financial backing. This financial reserve has at present a great deal of weight in the activities conducted by the Hiroshima District Committee, of Communist Party.

3. After the recent simultaneous arrest in conjunction with the "Heiwa no Koe" (Voice of Peace) the CP, Hiroshima district committee had formed a secret enterprising union office, from there various scheme are being propagated.

4. The International Faction is gradually losing the foothold, she onces held in the past.

Toshi Harada as a central figure and others are scheming and during this month, they had already held, 2 meetings in the city in counteracting the national faction.

(2)

二六、三、一三、(二六五)

一、二〇〇

党(主流派)の動向について

党(主流派)の企図している懐川組合組織の結成については既報(昭三五一三三〇)対郷七八八)のところであるが最近の動向

は次の通りである

一、党(主流)広島地区委に於ては既に市川、懐川組合より勝所を設け活動を開始しており市川、東部商店街、勿論、刈嶽、大河方面にも組織の拡充を圖り相有有力商店へ加盟を見ており将来党の有力基盤として益々組織の拡大を予想

される状況にある

二、企業組合に入会金六百円の外相有顔の会費を生収しており財政的に相有余裕があり現在党広島地区委の有力財源

とされている

三 党広地土委は過般の「平和のこえ」一斉檢舉后企業系組合
事務所を秘密アクトとして種々画策中である。

四 党（国際）に於ては過去に於ける生権同の有力基盤がことごとく主流派の依り切崩れを受けつつある現況に鑑み

原田 俊

等が中心となつて策動しており既に今月になつて二回市内
に於て会合をもつており主流派に対応して旧生権同勢力の
温存に狂奔しつつある。

13 February 1951

No. 265-1200

Subject: Regarding Activities of National
Faction; Communist Party

In regards to the establishment of the cooperative union contemplated by the national faction, Communist Party as it had already been reported on Dai No. 788, 20 December 1950, their recent activities are being forwarded in the following manner.

1. The national faction of the Hiroshima district committee have already established a cooperative union office and commenced her activities. Not only the business section in the east area but an Suzuki, Okawa districts the enhancement of its organization is being planned. Well established business firms have joined its group giving a strong foundation for the Communist Party to widen sphere of influence in the organization.
2. The enterprising union is collecting a membership fee of 7600 with other minor union expenses which run up to a considerable amount, making possible to have a reserve financial backing. This financial reserve has at present, a great deal of weight, in the activities conducted by the Hiroshima District Committee, of Communist Party.

3. After the recent simultaneous arrest in
junction with the "Heiwa no Koe" (Voice of
Peace) the C.P., Hiroshima district
committee had formed a secret
enterprising union office, from there
various schemes are being propagated.

4. The International faction is gradually
losing the foothold, she once held
in the past.

Poshi Harada as a central figure
and others are scheming and during
this month, they had already held 12
meetings in the city in counteracting
the national faction.

000.1
13 February 1951

No.262 - 1200

000.1
Subject: Regarding Activities of National Faction;
Communist Party

The national faction of the Communist Party had been working on the day laborer's union tinged with the international faction inclination to break up from its party and just recently, Masaru Ogawa, a member of the National Faction, CP had been successful in alienating Toshiro Mitani, Kusaoka, Kaneo Matsuda, Yuki Yatani from the international faction into the national faction. They under the leadership of district committee members, Yasuhiko Matsumoto and Teruo Okino, the formation of Asahi-cho, Communist Party cell had been culminated and on 3 February at the first cell meeting, had brought to an issue of placing a guard at the Okawa railroad crossing, Ujina line (at present there is no guard at the crossing). In order to accelerate the movement they had consulted Jinsaku Okumoto, Hiroshima City assembly member, Socialist Party for his aid. Simultaneously they have placed several persons at the crossing to obtain signatures for the enhancement of the movement.

13 February 1951
No. 262-1200

Subject: Regarding Activities of National
Factions; Communist Party

The national faction of the Communist Party had, been working on the day laborer's union, tinged with the international faction inclination to break up from its party and just recently Masagru Ogawa, a member of the national faction, C P had been successful in alienating Roshiro Mitani, Kusaoaka, Kanoo Matsumoto, Yuki Yatani from the international faction into the national faction. They under the leadership of district committed members, Yasuhiko Matsumoto and Peruo Okino, the formation of Asahi-cho Communist Party cell had been culminated and on 3 February at the first cell meeting, had brought to an issue of placing a guard at the Okawa railroad crossing, Ujina line (at present there is no guard at the crossing). In order to accelerate the movement, they had consulted Jinsaku Osumoto, Hiroshima City assembly member, Socialist Party for his aid. Simultaneously they have placed several persons at the crossing to obtain signatures for the enhancement of the movement.

END

二六、二一三 (二六二)

一、二〇〇

党(主流派)の勤向について
党(主流派)に於ては日雇労働者組織内への国際派勢力の切
崩工作に狂奔中であつたが最近に至り
党(主流派)員 小川 勝

は
三谷 益郎
草園 某
松田 甲子夫
八谷 紫
等ハ主流派陣営との引込りに成功しており同人等は
地又委員
沖野 輝男
松本 保彦

の指導の下に既に細胞(旭所)の結成を終り二月三日の第一回
 細胞会議に於て対大衆実践活動の皮切りとして永らく地方
 民の間に懸念となつてゐた宇部線大河踏切の踏切り番設置
 問題(現任警手)をとり上げこれが促進運動の展開を企
 図し社会党(市議 眞本甚作)方面を共闘の申入れを行
 うと共に連日該踏切の附近に於て署名運動を開始してゐる。

以上

000.1
13 February 1951

No.259 - 1200

Subject: Regarding Activities of National Faction;
Communist Party

The Communist interim central department has schemed a movement on "Peace Treaty Vote" to oppose on separate peace treaty and rearmament. On 9 January of this year, the object of obtaining 40 million votes for "Peace Treaty Vote", a document on movement, policy had been decided. Instructions had been sent to all branches of the organ and even the Hiroshima-ken committee is preparing 20 thousand leaflets by 12 of this month on "Peace Treaty Vote", identical to the accompanying form. Their subsequent movement requires careful attention.

Leaflet: Form - Front Page

Peace Treaty ballot

1. Culmination of over-all peace treaty is anticipated.
2. Absolutely in opposition to rearmament.

Name: _____

Destination:

Over-all Peace Treaty Patriotic
Movement Conference Committee
Room No.631, number 2 building,
House of Representatives,
Nagata-cho, Chiyoda-ku, Tokyo-to.

Second page:-

Over-all Peace Treaty

1. The World Peace and the safety of Japan could be upheld.
 2. The Japanese race could have a total independence and all personnel of the foreign army shall leave Japan.
 3. It is possible to have friendship with all countries with equal footing on international affairs.
 4. Peaceful industries shall flourish with increased international trade making livelihood situation sound prosperous.
 5. Let Japanese decide freely for themselves and discard foreign intervention.
-

Separate Peace Treaty

1. There shall be a world war and Japan shall turn into battle-ground.
2. The foreign army shall occupy Japan indefinitely turning Japanese into slavery. The young people are conscripted into the army.
3. Japan shall be hated by the neighboring countries, giving her difficulties in associating with them.
4. The earnings shall be all taxed for armament and taxation and contribution of indigenous products follow and the prices for commodities shall rise. All works shall be made difficult, turning Japan into poverty stricken country.
5. She shall be freely governed by the foreign country and again turn Japan into officialdom and police state.

A conclusion:

The over-all peace treaty shall form Japan unification. If we should turn in unison for over-all peace treaty then we could have it as we desire. Let us all without fail, cast our vote.

(3)

13 February 1951

No. 259-1200

Subject: Regarding Activities of National
 Faction; Communist Party

The Communist interim central department has schemed a movement on "Peace Treaty Vote" to oppose on separate peace treaty and rearmament. On 9 January of this year, the object of obtaining 40 million votes for "Peace Treaty Vote," a document on movement policy had been decided. Instructions had been sent to all branches of the organ and even the Hiroshima-based committee is preparing 20 thousand leaflets by 12 of this month on "Peace Treaty Vote," identical to the accompanying form. Their subsequent movement requires careful attention.

Leaflet: Form - Front Page

Peace Treaty ballot

1. Culmination of ^{over-all} peace treaty is anticipated.
2. Absolutely in opposition to rearmament.

name: _____

Destination: -

Over-all Peace Treaty Patriotic
Movement Conference Committee
Room No. 631, Number 2 building,
House of Representatives,
Nagata-cho, Chiyoda-ku, Tokyo-TO.

Second page: -

Over-all Peace Treaty

1. The World Peace and the safety of Japan could be up-held.
2. The Japanese race could have a total independence and all personnel of the foreign army shall leave Japan.
3. It is possible to have friendship with all countries with equal footing on international affairs.
4. Peaceful industries shall flourish with increased international trade making livelihood situation sound prosperous.
5. Let Japanese decide freely for themselves and discard foreign intervention.

Separate Peace Treaty

1. There shall be a world war and Japan shall turn into battleground.

2. The foreign army shall occupy Japan indefinitely turning Japanese into slavery. The young people are conscripted into the army.
3. Japan shall be hated by the neighboring countries, giving her difficulties in associating with them.
4. The earnings shall be all taxed for armament and taxation and contribution of indigenous products follow and the prices for commodities shall rise. All works shall be made difficult, turning Japan into poverty stricken country.
5. She shall be freely governed by the foreign countries and again turn Japan into officialdom and police state.

A conclusion:

The over-all peace treaty shall form Japan unification. If we should turn in unison for over-all peace treaty then we could have it as we desire. Let us all without fail, cast our vote.

③

二六、二一三、(二五九)

一、二〇〇

党 (主流) の動向について、
 党臨時中央指導部に於ては、単独講和再軍備反対斗争の環として、「講和投票」運動の展開を企図し、四千万票獲得を目ざして本年一月九日、「講和投票」運動方針書を決定。夫々各下部機関に指示しているが、広島県委に於ても本月十二日までに二万枚の「講和投票」用紙(別添様式)を、往來運動の展開を準備中であり、今後の動向は注目を要するものがある。

様式 (表面)

講和投票

- 一 全面講和をすくむよう努めます
- 一 再軍備に絶対反対します

(なまえ)

交線は切り取る

13013

(送先)

東京都子代田区永代町

衆議院第~~二~~會館六三號室

全面講和愛國運動快談會

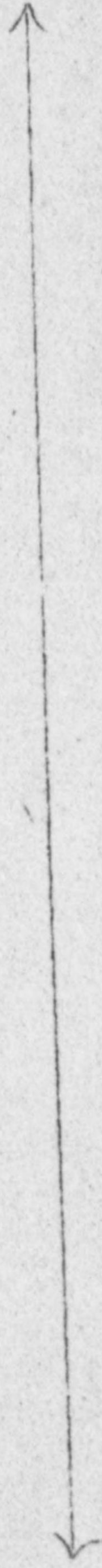
(裏面)

全 面 講 和

(天文字で見出し)

1. 世界平和と日本の安全が守られます。
2. 日本民族が完全に独立出来て外国の軍隊はひとり残らず引揚ります。
3. どの国とも仲良く対等のつきあいが出来ます。
4. 平和産業はひろくおこり貿易も盛んになり生活はゆるく豊かになります。
5. 日本は外国のさしづりを受けずに日本人が自由に生きることに出来ます。

単 独 講 和 不 可



一、世界は戦争になり日本は戦場になります。

二、外国の軍隊はいつまでもいて日本人はどれいれされ若い人は兵隊いこうになります。

三、となりきんじよの國々からいれられていきあいが出来なくなりませう。

四、ゆゑ金は皆準備に取られ税金も流出は全く物価はより仕事は一層つらく日本中がいくぼうになります。

五、外国の自由とされる再び役人と税と察のはいこる世の中になります。

むすび ↑ ↓

全面講和は日本人の団結をつくりませう。私共が一つになつて全面講和をのぞめば必ずむすべませう一人残りずこの投票に署名しましょう。

0001
14 February 1951

No.272 - 1200

SUBJECT: Regarding Movement of National Faction of
Communist Party

In counter-measure to the simultaneous arrest of the Communist Party organ, "Voice of Peace" conducted on 4 February, following are movements conducted by the national faction of Communist Party.

1. From about 1800 hrs, 4 February the regular committee meeting convened at the home of Dairoku Hoyama, of Kaitaichi-machi, Aki-gun.

- 1) Attendances.

Masato Tendo,
Dairoku Hoyama,
Teruo Okino,
Kyo Tagami

- 2) Decisioned

The clerical work which was previously handled by Yasuto Miyoshi shall be principally done by Dairoku Hoyama. Teruo Okino shall assist him.

D 4 February 1951

Enclosure No.1

1. On 5 February all the commercial press and the radio had publicized the simultaneous investigations of the secret Communist organ "Voice of Peace", at several hundred places and had discovered rifles and ammunitions. This is nothing more than to impress the public that the Communists are preparing to stir-up riot. This is nothing more than to alienate the public from the Communists.

2. The "Voice of Peace" had no direct relation with the Japan Communist Party organization. The "Voice of Peace" was to publicize the disting of Japan to the Japanese people.

3. The Japanese people absolutely desire the total independence and they shall up-hold peace from aggressive wars.

4. This wish of Japanese people had been trampled under foot for several years under high-sounding names of protecting democracy and freedom. Japan is actually transformed into military bases; Japanese are being prepared out by the Communist member, Kawakami, member of House of Representatives and he was disciplined.

5. The present cabinet has taken away privileges of eyes and ears from the people and farced them to become slaves.

6. As long as there are patriatic citizens, even if the "Voice of Peace" had disappeared from the public, it is impossible to wipe out the voice of independence and peace.

7. Protect the freedom of conducting meetings and expression of speeches by the Japanese people promised in the Potsdam Declaration and in the Constitution.

8. Shatter the separate peace treaty which turns Japan into colony by mass movements.

9. Over-all Peace Treaty should be conducted by America British, Russia and China and after the peace treaty all occupation forces to be evacuated.

10. Let us strike down the Yoshida's cabinet, stooge for imperialism.

11. All patriatic citizens should come to the front line of democratic racial battle front.

Chugoku District Committee,
Japan Communist Party

Enclosure No.2 (1)

Subject: Regarding Arrest of Patriot,
Yasuto Miyoshi

Appeal to you all of Hiroshima Shipbuilding
Laborers

On 4 February with the reason of having distributed "Voice of Peace" the democratic lawful press, the traitorous Liberal Party Government had dispatched armed policemen to the residence of Miyoshi and conducted investigation and made illegal arrest. On the 5, the police had raided Okimoto's residence and several other places of the Hiroshima Shipbuilding cell members but without any result the police had returned to their posts.

Our comrades and laborers of the Hiroshima Shipbuilding Company!

1. For the protection of freedom of people.
 2. For the protection of speech, society and publication!
 3. In opposition to the separate peace treaty that leads to war.
 4. For the purpose of over-all peace treaty and complete evacuation of the occupation forces.
- Appeal to rise-up for retaliation from among comrades in the factories.
Demand immediate release of Patriot, Yasuto Miyoshi!

Hiroshima Shipbuilding cell
Japan Communist Party.